



OBCを知るための基礎資料



2018年9月30日

株式会社オービックビジネスコンサルタント

東証1部 (4733)

www.obc.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

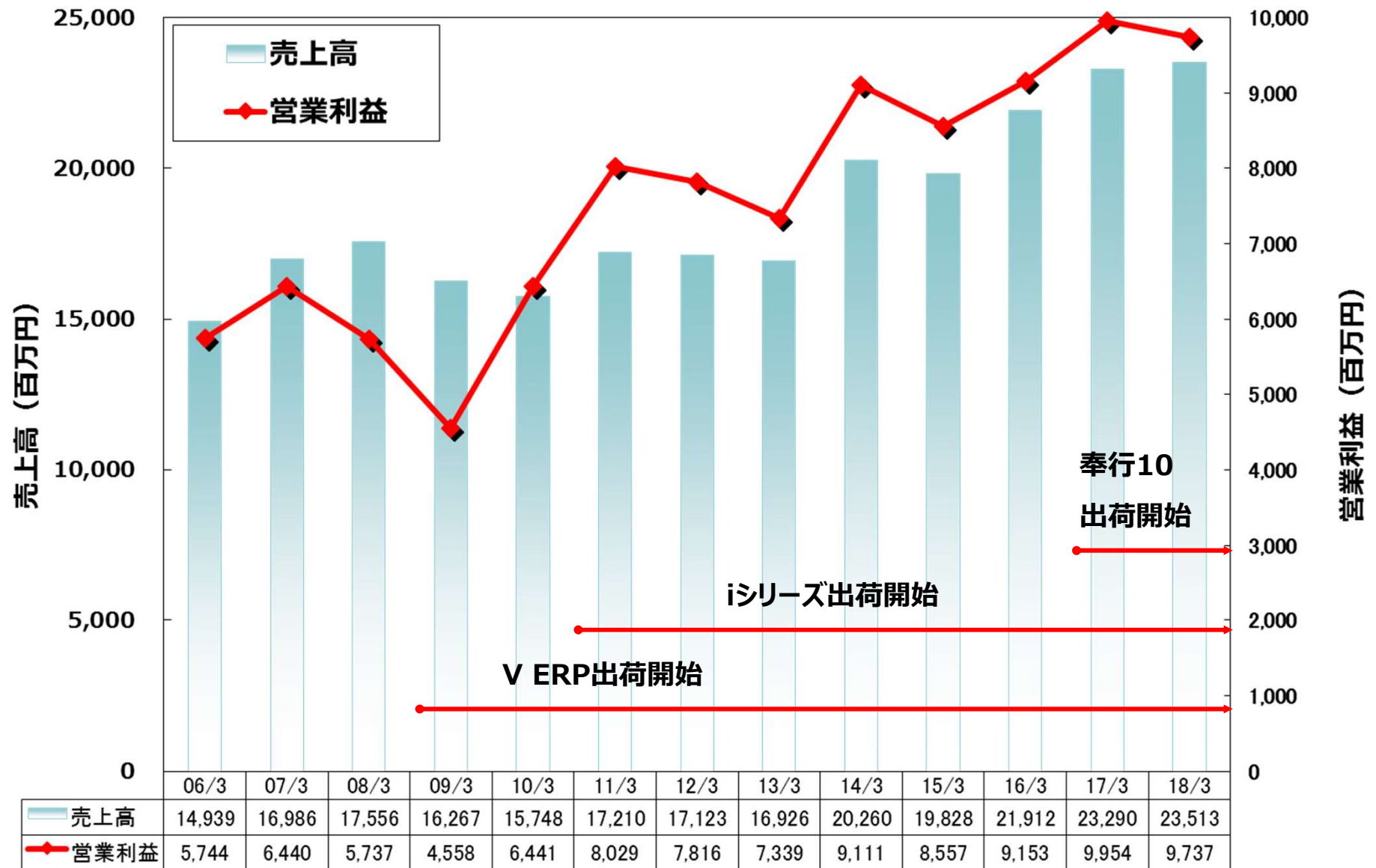
会社の概要

- ◆ 設 立 : 1980年12月
- ◆ 総資産 : 1,239億2,019万円（18年3月期末）
- ◆ 株主資本 : 1,052億6,462万円（18年3月期末）
- ◆ 事業内容 : ●ソリューション
●関連製品
●サービス
- ◆ 代表者 : 代表取締役社長 和田 成史
- ◆ 業績（非連結） : 18年3月期
 - 売上高 : 235億1,321万円
 - 経常利益 : 111億9,824万円
 - 当期利益 : 81億7,213万円

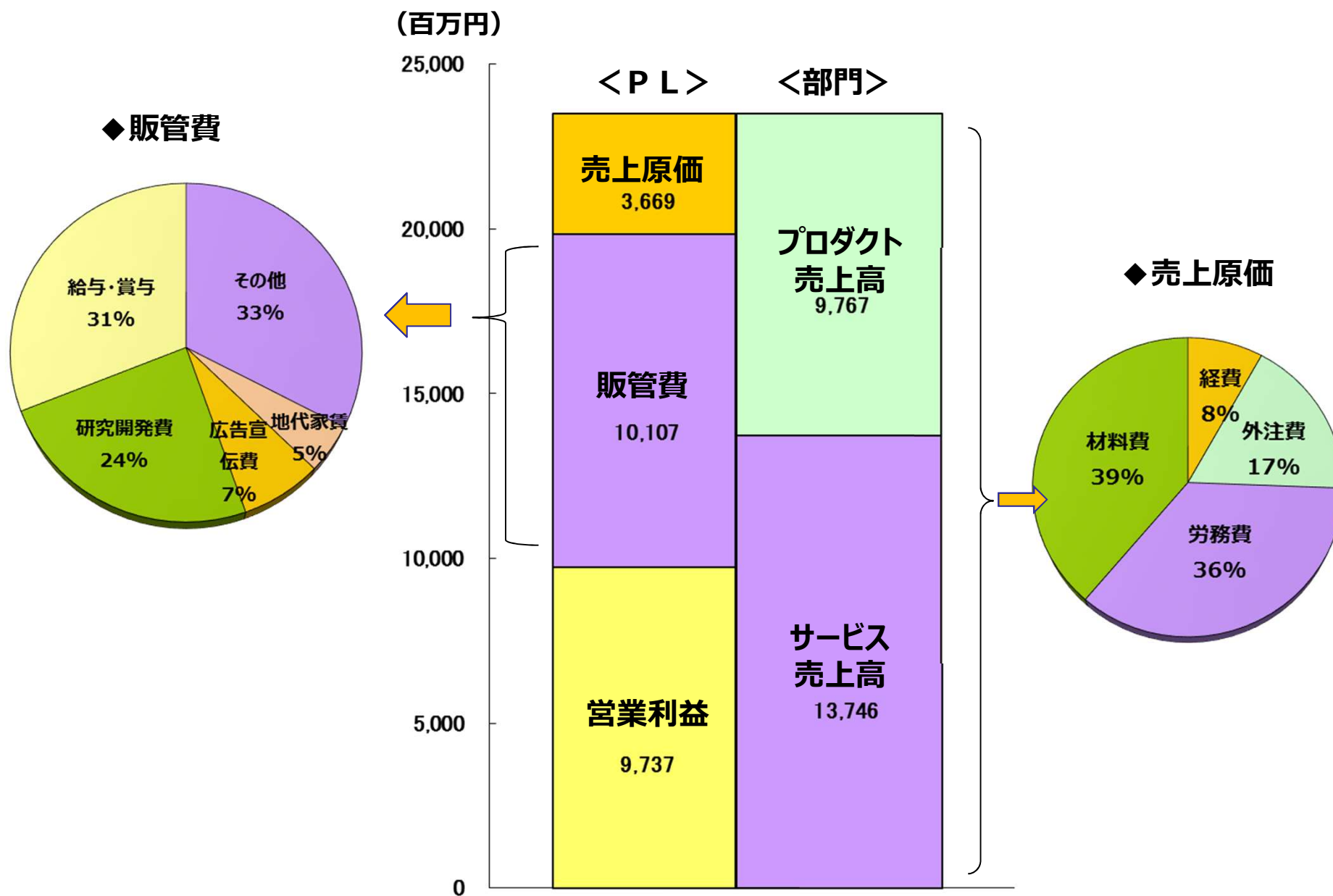
O B Cのコアコンピタンス

- | |
|------------------------------------|
| ① 企業業務（会計・人事・給与等）の業務サービスにフォーカスする |
| ② 中堅及び中規模・小規模企業にフォーカスする |
| ③ M i c r o s o f t テクノロジーにフォーカスする |
| ④ パートナー戦略にフォーカスする |
| ⑤ ブランド戦略にフォーカスする |

業績推移



OBCのPL構造（18年3月期）



売上構成比（18年3月期）

■サービス

- ・保守契約料（OMSS）
- ・奉行クラウドEdge
- ・スクール売上（ユースウェア）
- ・指導料売上（ユースウェア）
- ・都銀向けEBの月額使用料

■プロダクト

（①ソリューション＋②関連製品）

①ソリューション

【オンプレ型】

- ・パッケージソフト
（奉行VERP、奉行新ERP、NetworkEdition、
スタンドアロン、Jシステムなど）

・オプション製品

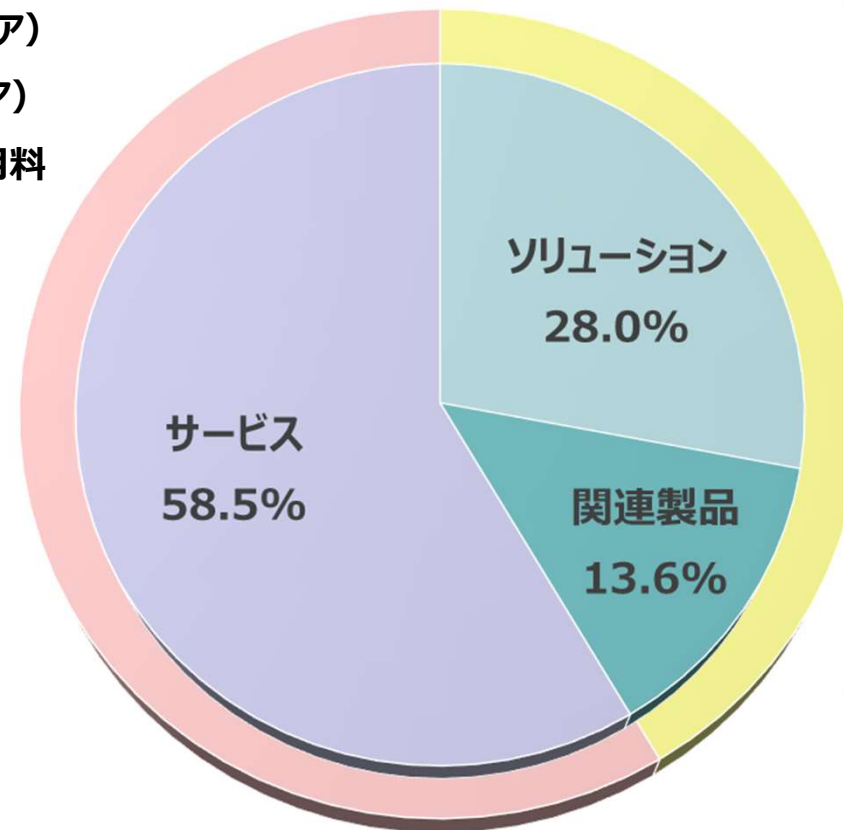
・地銀向けEB（OFFICE BANK）

【利用料型】

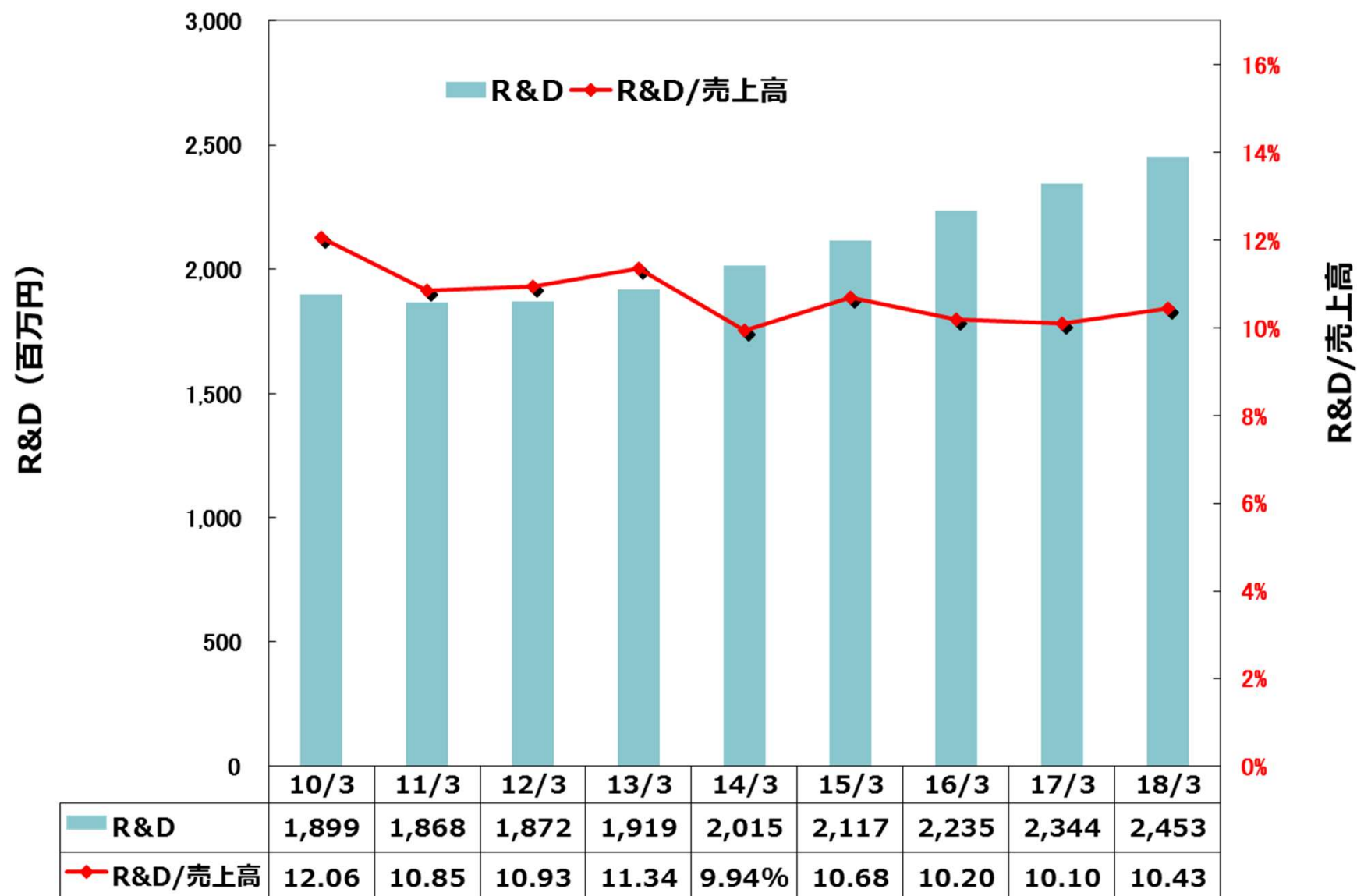
- ・奉行10クラウド
- ・OBCクラウドサービス
- ・奉行クラウド

②関連製品

- ・サプライ品（専門帳票類）
- ・奉行連動ソリューション（他社製品）
- ・都銀向けEBの受託開発



研究開発に注力

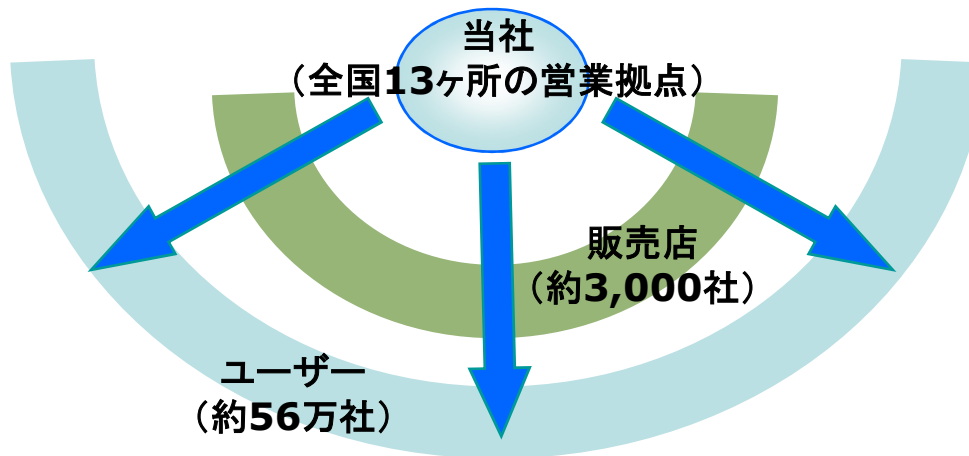


営業・マーケティング体制

知識集約型

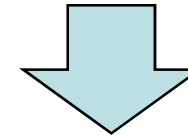
- ◆ 全員が日商簿記2級及びマイクロソフト認定技術者の有資格者
 - ⇒ 営業員でなくシステムコンサルタント
 - 当社営業部員(システムコンサルタント) + 販売パートナーでの顧客提案
 - 当社 + 販売パートナーによる独自イベント

地域密着型



マーケティング

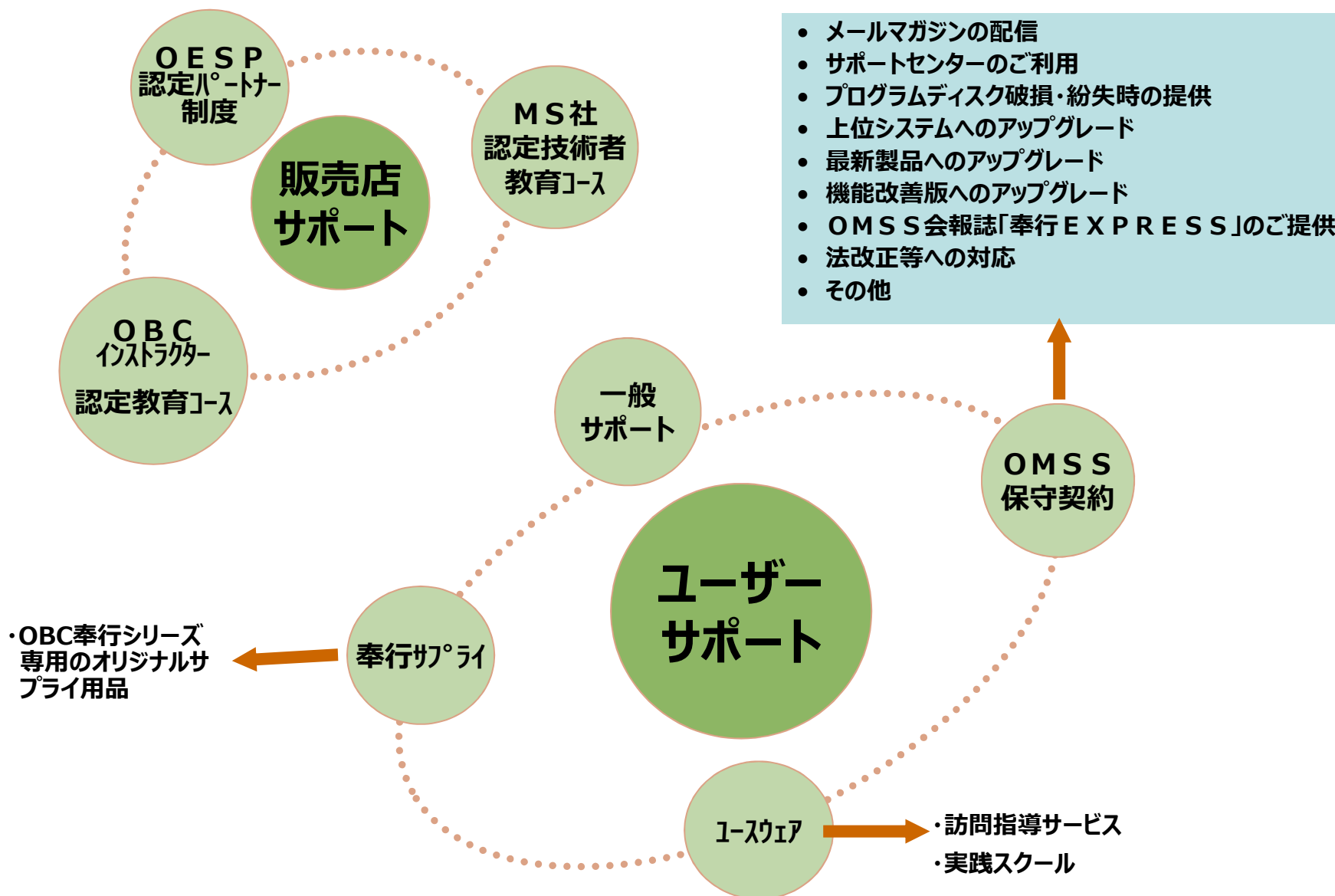
1. TVCMなど
2. セミナー方式
会計士、ITコーディネーター、金融機関とのタイアップなど
3. 展示会方式
4. 無料体験スクール方式



◆ 展示会の開催例

- ・販売パートナー向け戦略発表会
「OBC Partner Conferene」
- ・お客様向けイベント・セミナー
「奉行フォーラム」

サービス・サポート体制



O B C のビジネスモデル

	OBCのビジネスモデル	Sierのビジネスモデル
対象製品・システム	● 基本業務システム（奉行 1 2 製品） ● パッケージソフト中心	● 個別ユーザー ● 案件別システム ● ソフト+ハード
販売方法	● 販売パートナー経由 （リコー、キヤノン、ゼロックス等、富士通、NEC、IBM等のメーカー系地域独立系販社）	● 直販
開発方法	● パッケージ：自社開発	● 自社開発（一部外注）
地域ターゲット	● 全国展開（販売パートナーを活用）	● 都市部中心
顧客ターゲット	● 中堅・中小企業	● 大企業、中堅企業

OBCのビジネスモデル

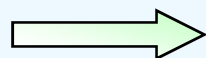


フロービジネス

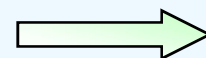
■ソリューション

- ・奉行V E R P
- ・奉行 i シリーズ
- ・奉行 J シリーズ
- ・OFFICE BANKシリーズ

ソリューションの
代金



ソリューションの
代金



奉行シリーズ



奉行シリーズ



ユーザ

販売パートナー

3,000
社

当社

購入



稼動

ユーザ

販売
パートナー

56万社

当社



ストックビジネス

■ソリューション

- ・奉行10クラウド
- ・OBCクラウドサービス
- ・奉行クラウド

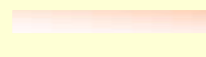
■関連製品

- ・サプライ品（専用帳票類）
- ・奉行シリーズ連動他社製品
- ・都銀向けEBの受託開発

■サービス

- ・保守契約料（OMSS）
- ・奉行クラウドEdge
- ・スクール/セミナー/訪問指導
- ・都銀向けEBの月額使用料

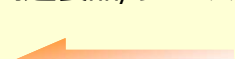
関連製品/サービスの
代金



関連製品/サービスの
代金



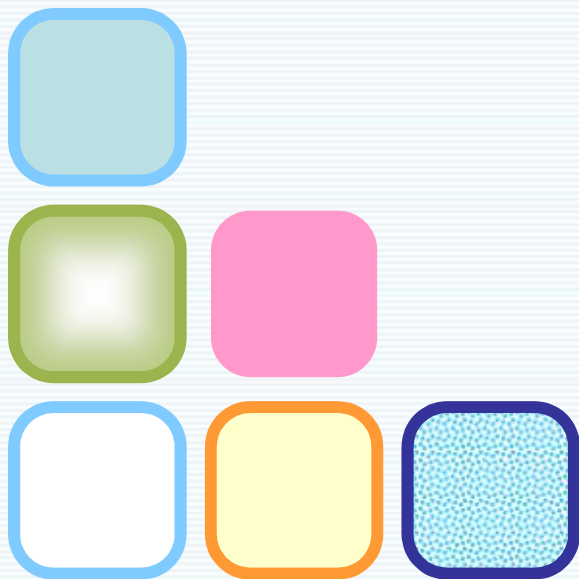
関連製品/サービス



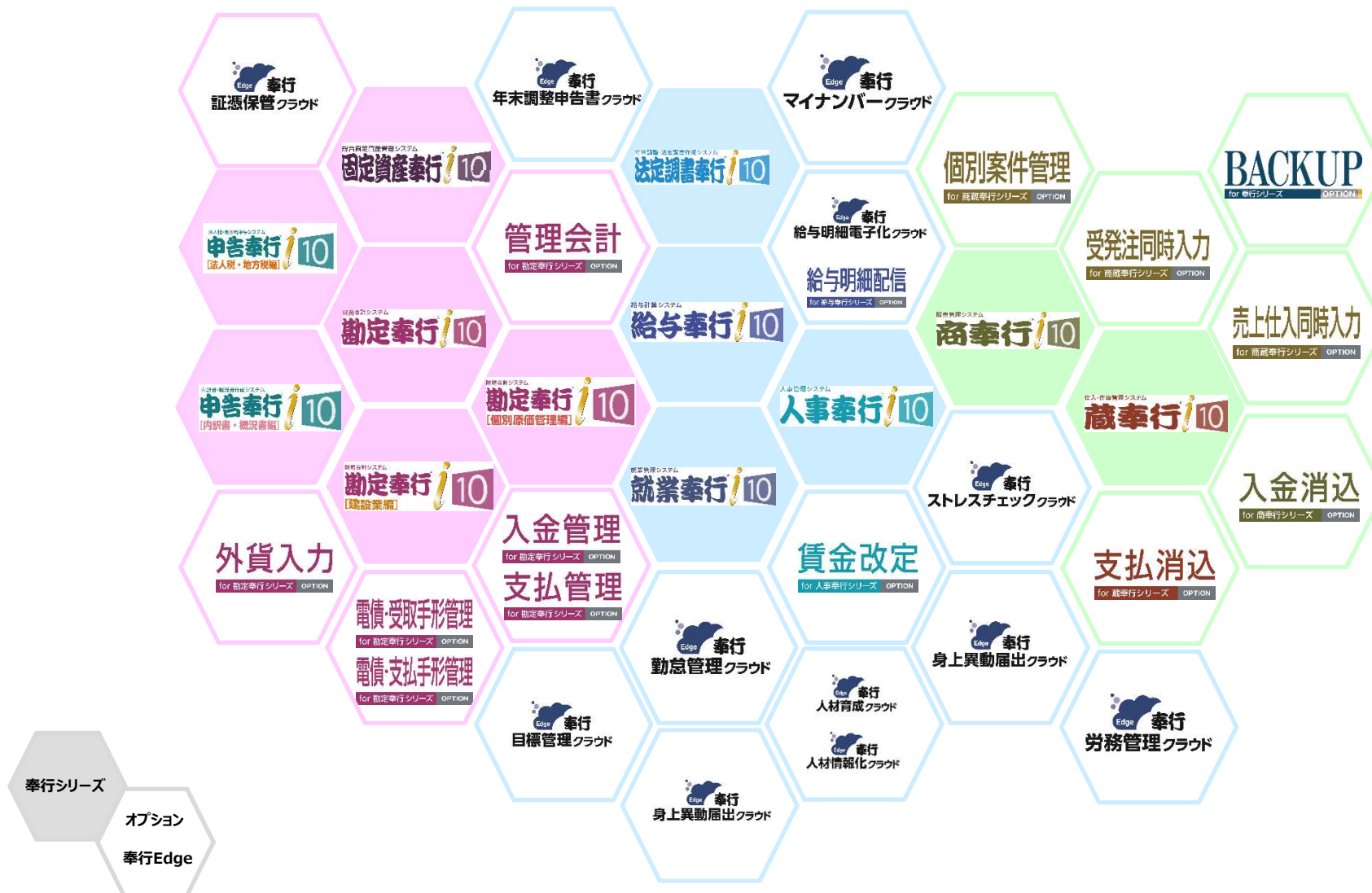
関連製品/サービス



オンプレビジネスのラインナップ°



奉行シリーズにオプションや奉行Edgeを組み合わせ、生産性向上をバックアップ！



O B Cのパッケージソフト（業務別）

財務会計

- 勘定奉行
- 勘定奉行【建設業編】
- 勘定奉行【個別原価管理編】
- 申告奉行【法人税・地方税編】
- 申告奉行【内訳書・概況書編】
- 固定資産奉行

人事労務

- 人事奉行
- 就業奉行
- 給与奉行
- 法定調書奉行

販売仕入

- 商奉行
- 蔵奉行

エレクトロニックバンキングシステム

- OFFICE BANK
- OFFICE BANK（資金集中・配分システム）

O B Cのパッケージソフト（奉行 i モデル別）

製 品	内 容	販売数 (18／3期)	定 価
新 E R P	● 奉行シリーズの機能をさらに拡張するためのパッケージ	210本	124～510万円 (3～20クライアント)
Network Edition	● データベースサーバーとクライアント P C をネットワーク接続して使用可能 ● 支店・事業所内で複数のオペレータが使用出来るだけでなく、WAN 接続（専用線、ダイヤルアップ、VPN 等）する事により、複数の支店、事業所で使用し、データを一元管理する事ができるネットワーク対応モデル	4,439本	88～410万円 (3～20クライアント)
スタンドアロン	● 1 台の P C にて使用するスタンダードモデル ● 小規模の企業や、特定の担当者、部門内でのみ利用する業務に対応	11,498本	20～68万円
J シリーズ	● 小規模法人企業向け	688本	8万円
E B (エレクトロニック・バンキング)	● 都銀や地銀のユーザーである大企業や中堅企業の事業所における銀行取引業務管理システム		

O B Cのパッケージソフト（奉行V E R P モデル別）

Advanced Edition

価格（税抜き） ￥2,050,000～

Advanced Editionとは、既存システムとの堅密な連携に対応できる奉行V ERPシリーズのハイグレードモデル。必要な部分からの段階的な開発や連携も考慮しており、企業の導入フェーズに柔軟に対応。

Standard Edition

価格（税抜き） ￥1,600,000～

Standard Editionとは、社内のネットワーク環境やブローバンドを利用し複数台のPCで、伝票の入力や管理資料の印刷が可能。業務の負荷分散やデータの一元化が図れるベーシックなモデル。

Single Edition

価格（税抜き） ￥640,000～

Single Editionは1台のコンピュータで運用することを目的としている。業務システムの運用が単体でのお客様、企業規模に合わせて導入やパイロット運用など将来の拡張を想定して、効率の良い投資を行ないたいお客様、様々なお客様に対応可能。

＜参考＞「勘定奉行V E R P」の価格です。Standard Edition、Advanced Edition は、5ライセンスの参考価格です。

企業成長・拡張性

V E R P, 新 E R P の特徴

【V E R P】

自社の業務プロセスに合わせた
開発が可能

1. 低コストの実現

- 費用対効果の高いシステム導入が可能
- 業種別に用意されているソリューション製品群
- オプション製品によるコスト削減
(ミニマム化)

2. 短納期でのシステム構築が可能

- 完成したパッケージをベースにした開発による納期の短縮
- オプション製品との組み合わせによる短納期を実現

3. 既存システムとの融合

- 必要としている部分に新たなシステムを追加導入・改善を行い、既存システム（他社のシステム）と融合をすることにより、最小限の投資で新たなシステムの構築が可能

【新 E R P】

段階的なシステム導入が可能

1. システムアップによる導入

- スタンドアロン→LANPACK→新ERP

2. 業務単位での導入可能とする3つのデータベース

- 人：人事・給与・就業管理
- 物：販売・仕入・在庫・顧客管理
- 金：財務会計・固定資産・債権債務・法人税

3. 奉行連動ソリューションとの連携

- 業務単位に多彩な奉行連動ソリューションが用意されており、柔軟なシステム拡張が可能
- 奉行連動ソリューションはシステム開発パートナーが連動製品を提供

オプション製品【奉行オプション】の特徴

オプション製品【奉行オプション】

- ◆ 業務に特化した奉行 i 1 0 に対応したオプション製品「奉行オプション」を多数用意
- ◆ 奉行 i 1 0 と組み合わせてご導入頂くことで、お客様の業務・業種に合わせたシステムの構築が可能

5つの特徴

特徴1 奉行 i 1 0 シリーズと高い互換性があるためデータは直接連動

特徴2 カスタマイズが不要なため、すぐに運用が可能

特徴3 パッケージ化により、短納期を実現

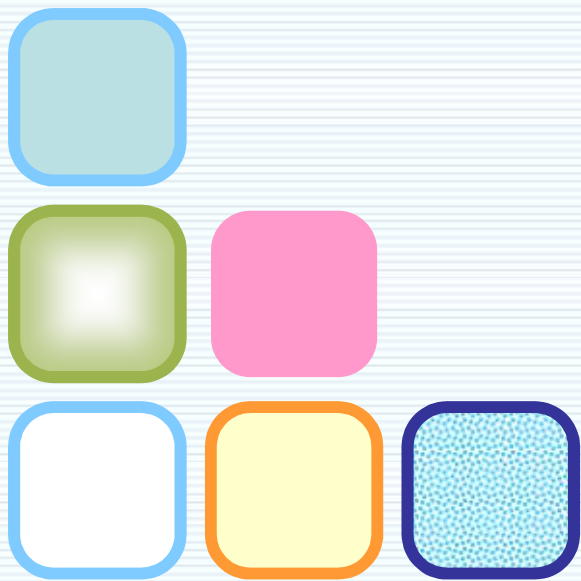
特徴4 メンテナンスや税制改正等への対応も万全にサポート

特徴5 導入フォローの訪問指導サービスも充実

オプション製品の一覧

製品	対応製品
■入金管理オプション ■支払管理オプション ■管理会計オプション ■外貨入力オプション ■電債・受取手形管理オプション ■電債・支払手形管理オプション	■勘定奉行 i 1 0 ■勘定奉行 i 1 0【個別原価管理編】 ■勘定奉行 i 1 0【建設業編】 ■勘定奉行 i 1 0【建設業編】
■給与明細配信オプション	■給与奉行 i 1 0
■賃金改定オプション	■人事奉行 i 1 0
■個別案件管理オプション ■受発注同時入力オプション ■売上仕入同時入力オプション ■入金消込オプション ■支払消込オプション	■商奉行 i 1 0 ■蔵奉行 i 1 0

クラウドビジネスのラインナップ°



奉行クラウド ラインナップ[®]全体像

奉行クラウドと奉行クラウドEdge
により、業務効率化を全面支援

先行発売！



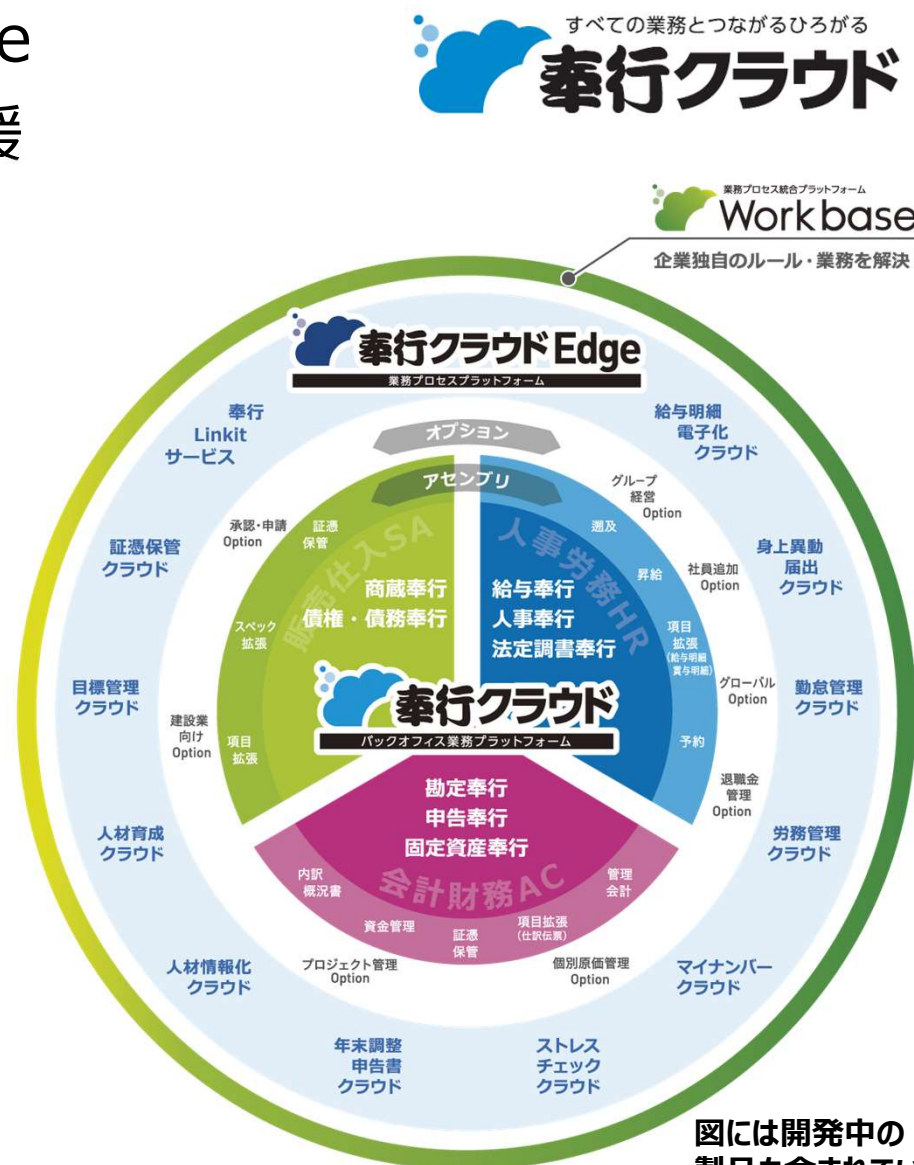
財務会計システム
勘定奉行クラウド

給与計算システム
給与奉行クラウド

2018年秋以降順次リリース予定

販売管理 仕入・在庫管理システム
商蔵奉行クラウド

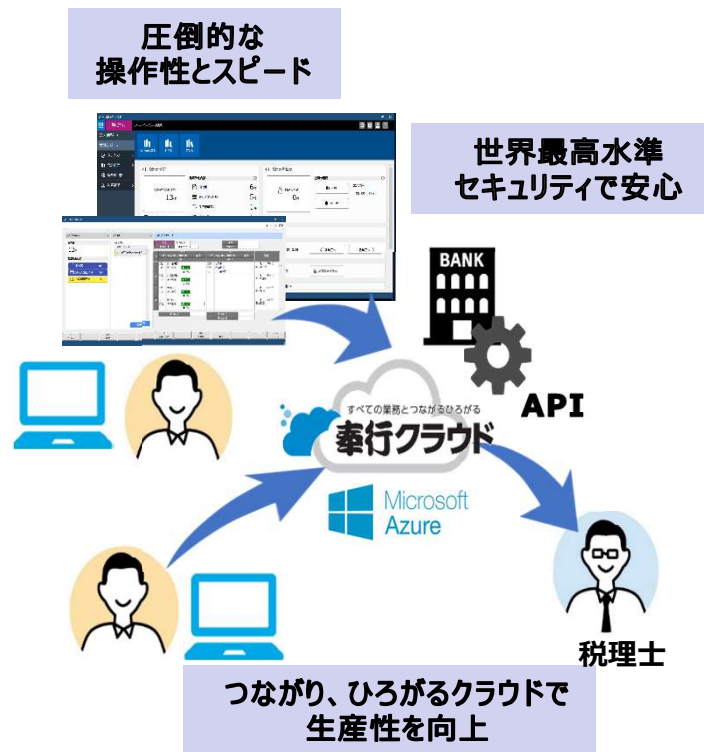
2019年以降順次リリース予定



図には開発中の製品も含まれています。

奉行クラウドの特徴

安心・安全・信頼性の高い世界最高水準のセキュリティを提供し
「すべての業務とつながる・ひろがる」



Windows×クラウドの 抜群的操作性とスピード

Webブラウザ型のクラウドサービスでは実現困難なWindowsプログラム同様の操作性をWPFによる開発により実現しました。

自動化・学習機能により 日常業務を生産性UP

伝票入力作業などの日常業務を、自動化・学習機能により効率化し伝票入力レスを実現できます。

機能・スペック・データ容量を いつでも自由に拡張

アセンブリによる機能やスペックの追加、データの利用量に応じたデータの追加など、利用規模に応じて柔軟に選択できます。

利用者追加で 手軽にネットワークを！

スタンドアロン版やNETWORK Editionといった区別はなくなり、1L単位でID追加可能になりました。
(奉行クラウドJを除く。)

会計士、税理士、社労士等 専門家と一緒に利用

専門家ライセンスにより、利用ユーザーが、職業専門家を自社ドメインに招待し、データをリアルタイムに共有できます。

APIでさまざまな クラウドサービスと連携

奉行クラウドは、金融機関・外部システムなど、さまざまなクラウドとRest APIを用いて連携可能です。

奉行クラウドはひとつの ID・プログラムで統合

すべての奉行クラウドがひとつのID (O B C i D)、ひとつのプログラムに統合。シングルサインオン(SAML認証)にも対応

世界最高水準の セキュリティと可用性

Microsoft Azureを利用しており、ISO 27001、SOC2をはじめとした国際的なコンプライアンス基準を満たしています。

グローバル基準の ディザスタリカバリーを 日本国内で実現

業務データは自動的に3重化され、さらに東日本・西日本のDCに複製されます。データの海外流出を回避しつつ大規模災害に備えられます。

奉行クラウド×マイクロソフトテクノロジーによる強み

世界トップレベルのセキュリティを 100%マイクロソフトテクノロジーで実現する「奉行クラウド」

一般的な業務クラウドの場合

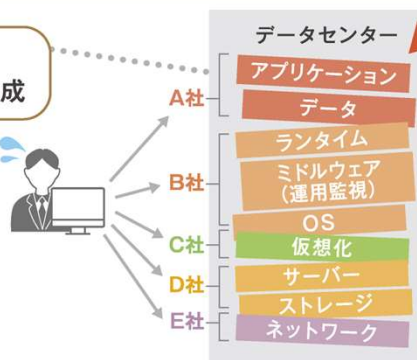
アプリケーション提供元がすべて管理

一貫した対応には、高い技術力と体制が必要

各社異なる
テクノロジーで構成

アプリケーション
提供元が
個々に対応

不安



将来性は、利用者自身が見極める必要があります

セキュリティは
大丈夫?

データセンターは
どこにあるの?

撤退したりしない?
動作が不安定?

クラウドの
ノウハウはあるの?

奉行クラウドの場合

実績豊富なマイクロソフト社がトータル管理

100%マイクロソフトテクノロジーによる一貫した対応を実現

データセンター
アプリケーション
データ
ランタイム
ミドルウェア
(運用監視)
OS
仮想化
サーバー
ストレージ
ネットワーク

100%マイクロソフト
テクノロジーで構成

世界トップレベルの
セキュリティでマイクロソフトが
一貫して対応

安心



将来的にもずっと使い続けることができます

世界銀行並みの
セキュリティ

世界140か国で運用
されているクラウド

日本国内のみで
24時間365日サービス提供

奉行クラウド提供価格

SaaSモデルにより、サーバ不要。OMSS（保守サポート）も含み、制度改正や環境変化にも安心してご利用頂けるクラウドサービスです。

ライセンスは1ライセンス単位で追加可能。会社・外出先など場所や時間にとわられることなく、いつでもどこでもサービスを利用できます。

（価格は全て税抜）

勘定奉行クラウド i	スタンダード	給与奉行クラウド i
機能性でシステムを選択。 Aシステム 150,000円 ・仕訳処理 （領収書入力・銀行入出金明細入力・帳簿入力・仕訳伝票入力） ・会計帳票・決算帳票・汎用データ作成・汎用データ受入 ・ダッシュボード・専門家ライセンス×1 付属・消費税申告 ・仕訳伝票予約・権限登録・帳票パターン Bシステム 180,000円 Aシステムの機能+ ・部門権限・入力期間制限・経営分析(勘定奉行10 S相当)		管理従業員数でシステムを選択。 Aシステム/ 管理可能従業員数100名※2 180,000円 Bシステム/ 管理可能従業員数300名※2 240,000円 【共通機能】 ・給与処理・賞与処理・社会保険処理・年末調整処理 ・ダッシュボード・汎用データ作成・汎用データ受入 ・専門家ライセンス×1 マイナンバー保管機能※3 ※Bシステムのための機能【部門権限】
勘定奉行クラウド j	コンパクト	給与奉行クラウド j
・仕訳処理 （領収書入力・銀行入出金明細入力・帳簿入力・仕訳伝票入力） ・会計帳票・決算帳票・汎用データ作成・汎用データ受入 ・ダッシュボード・専門家ライセンス×1 付属・消費税申告 利用者制限 1ライセンスのみ 機能制限 年商10億円(※1)、部門 10件 96,000 円		・給与処理・賞与処理・社会保険処理・年末調整処理 ・ダッシュボード・汎用データ作成・汎用データ受入 ・専門家ライセンス×1 マイナンバー保管機能※3 利用者制限 1ライセンスのみ 機能制限 従業員数50名※2 96,000円

※1 超えると「※」表示となります。

※2 退職者を除きます。

※3 マイナンバー保管機能はマイナンバーサービスと同等のセキュリティレベルでご提供しています。

奉行10クラウド・OBCクラウドサービス



パブリッククラウドサービス（IaaS・PaaS）と組み合わせてご利用頂く、利用料型の奉行10シリーズ。奉行10対応のパブリッククラウドから、お客様のご希望に合わせて選択頂けます。



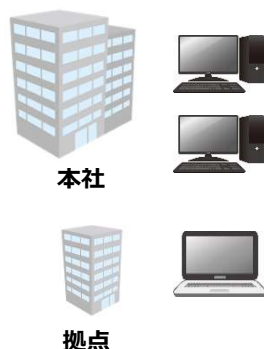
対応パブリッククラウド



自社検証（※対応パブリッククラウド）



奉行10シリーズに加え、クラウド環境、環境構築・運用・サポートまですべてOBCがご提供するプレミアムサービス。インターネット環境を用意頂くだけでご利用頂けます。（※奉行10シリーズを購入頂き、クラウド環境でご利用頂く事も可能です）



<奉行シリーズ>

構築 & メンテナンス

<奉行シリーズ>

データバックアップ (毎日)

奉行10のクラウド運用をOBCがサポートします。お客様は利用に集中いただく、システム運用コストが削減できます。



奉行クラウドEdgeの特徴

奉行クラウドEdge（旧OMSS+ 業務サービス）

- ◆ 奉行クラウドEdgeとは、基幹業務システムでは対応しきれない様々な業務に対し、スピーディーにかつ優れたコストパフォーマンスで利用できる当社のサービス群
- ◆ 関連する奉行製品とのスムーズに連携・同期が可能
- ◆ 企業全体の業務対応力を向上させるツールとして活用可能

3つの特徴

特徴1 幅広い業務をカバーし、企業全体の生産性を向上
⇒業務網羅性を高める

特徴2 業務対応のためにパッケージを改修するコストが不要
⇒必要な時に必要なサービスのみを選択して導入できるため、高いコストパフォーマンスを提供可能

特徴3 制度改正等の変化に対し、提供するスピードが速い業務サービスであれば
すぐに対応できる
⇒基幹業務と企業業務の対応を同時に行うことが可能

奉行クラウドEdgeの一例

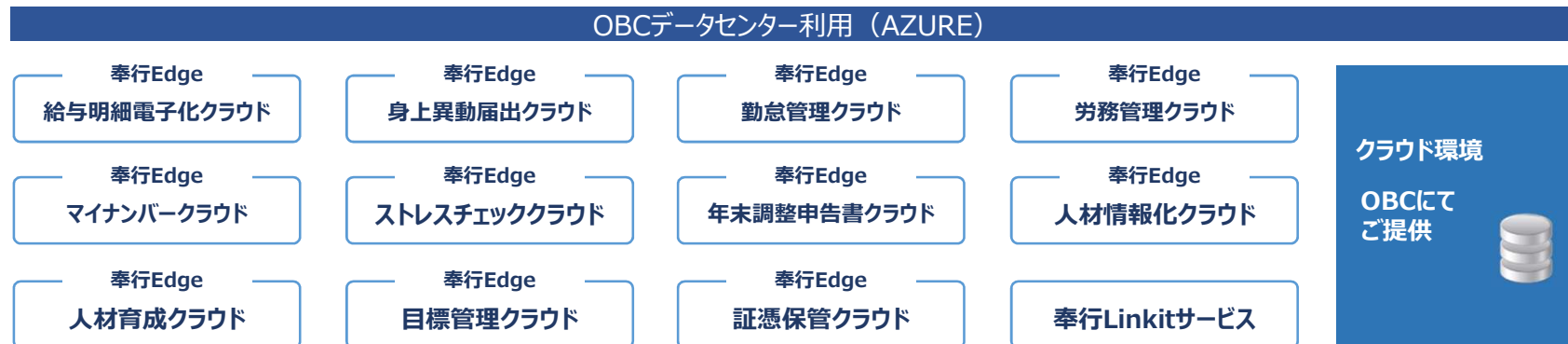
■「奉行Edge マイナバークラウド」	【マイナンバー制度対応】 マイナンバー対応の業務プロセスを効率かつ安全に行うことが可能
■「奉行Edge ストレスチェッククラウド」	【ストレスチェック義務化対応】 初めてのストレスチェック制度にオールインワンサービスで対応
■「奉行Edge 勤怠管理クラウド」	【改正労働基準法対応】 スマートフォンやパソコンで従業員が勤怠に係る打刻・申請・承認が行え、勤怠管理業務をサポートすることで労務リスクを最小化
■「奉行Edge 人材育成クラウド」 ■「奉行Edge 人材情報化クラウド」 ■「奉行Edge 目標管理クラウド」	【人材育成支援対応】 社員育成と組織力向上を実現 育成方針に基づく目標管理、人事考課をスムーズに運用できる環境を提供
■「奉行Edge 労務管理クラウド」	【労務管理業務の効率化】 業務シナリオ機能を搭載し、労務業務手順を理解しながら業務を進められる。また、従業員の情報収集業務の簡素化、書類の自動作成、電子申請業務までの効率化を実現
■「奉行Edge 年末調整申告書クラウド」	【年末調整業務の効率化】 Webで年末調整業務を行う事により、扶養控除等申告書、保険料控除申告書の、申請・届出業務を大幅に効率化
■「奉行Edge 給与明細電子化クラウド」	【明細書配付の効率化】 給与明細書の配付にかかる時間とコストを確実に削減する事が可能なサービス

製品戦略の位置づけ

オンプレから、IaaS、SaaSモデルまで、あらゆる環境に対応できます



奉行クラウドEdge（旧OMSS+業務サービス）



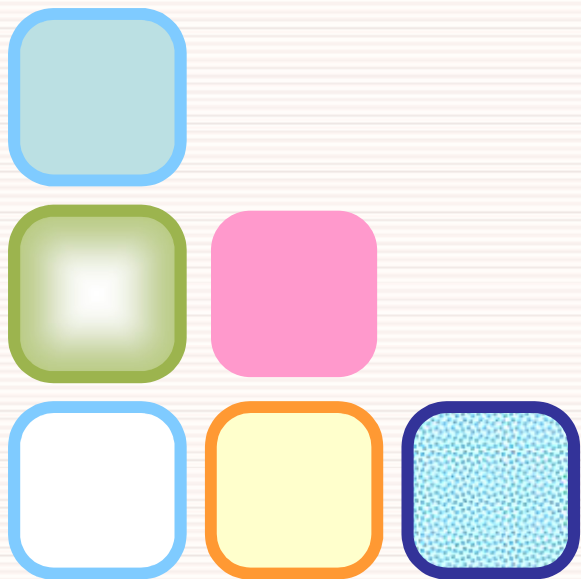
参考（価格情報）

		オンプレミス	IaaSモデル		SaaSモデル
			奉行10クラウド	OBCクラウドサービス	奉行クラウド
iシリーズ	スタンドアロン版	220,000円～	—	—	150,000円/年～ ※年間利用料型 ※1ライセンス ※クラウド環境費用含む
	ネットワーク版	970,000円～ ※3ライセンス	480,000円/年～ ※年間利用料型 ※3ライセンス ※別途クラウド環境 費用が必要	1,435,000円/年～ ※年間利用料型 ※3ライセンス ※クラウド環境費用含む	462,000円/年～ ※年間利用料型 ※3ライセンス ※クラウド環境費用含む
VERP シリーズ	スタンドアロン版	640,000円～	—	—	開発中
	ネットワーク版	1,500,000円～ ※3ライセンス	720,000円/年～ ※年間利用料型 ※3ライセンス ※別途クラウド環境 費用 が必要	1,745,000円/年～ ※年間利用料型 ※3ライセンス ※クラウド環境費用含む	開発中

参考（用語説明）

No	用語	概要
1	Microsoft Azure	マイクロソフトのデータセンターにあるクラウドプラットフォーム。アプリケーションの動作環境、ミドルウェアサービス、データベース等を提供している。OBCクラウドサービスや奉行クラウド、奉行クラウドEdgeのクラウドプラットフォームとして採用している。
2	SaaS	クラウドのサービス形態の1つ。ソフトウェアを、インターネット経由でサービスとして提供・利用する形態のこと。奉行クラウド、奉行クラウドEdgeがこの形態にてサービスを提供している。
3	IaaS	クラウドのサービス形態の1つ。情報システムの稼働に必要なサーバーをはじめとした機材やネットワークインフラを、インターネット上のサービスとして提供する形態のこと。OBCクラウドサービスや奉行10クラウドがこの形態にてサービスを提供している。
4	WPFリッチクライアントUI	SaaSのクライアントユーザーインターフェースの種類の一つ。Microsoft次世代Windowsクライアント開発環境で作成されており、WEB型ユーザーインターフェースアプリと比較して、より高い操作性と、機能性を提供することができる。
5	オープンAPI	ソフトウェアが提供している機能を外部のアプリケーションから利用できるようにするインターフェースのこと。奉行クラウドでは、外部サービスとの連携でOBCオープンAPIを提供していく予定である。
6	OBCiD	奉行クラウドサービスの統合ユーザー認証基盤。利用者は一つのOBCiDで複数の奉行クラウドサービスを利用することができる。また、他のOffice 365など他のクラウドサービスとの相互認証を行うことで、どちらかのアカウントの認証のみで双方のサービスを利用できるシングルサインオンが実現可能となる。
7	RPA	Robotic Process Automationの略。画面上のアプリケーションやシステム画面を識別し、人間と同じように操作を記憶させ、実行する事ができる。プログラム言語で開発する必要はなく、事前に設定された実行手順によって動作する。
8	5G	第5世代移動通信システム。2020年の実用化に向け整備中で、現行の4Gと比較し、通信速度が数十倍～100倍になり、IoTや自動運転技術への活用が期待されている。

市場におけるOBC製品のポジショニング



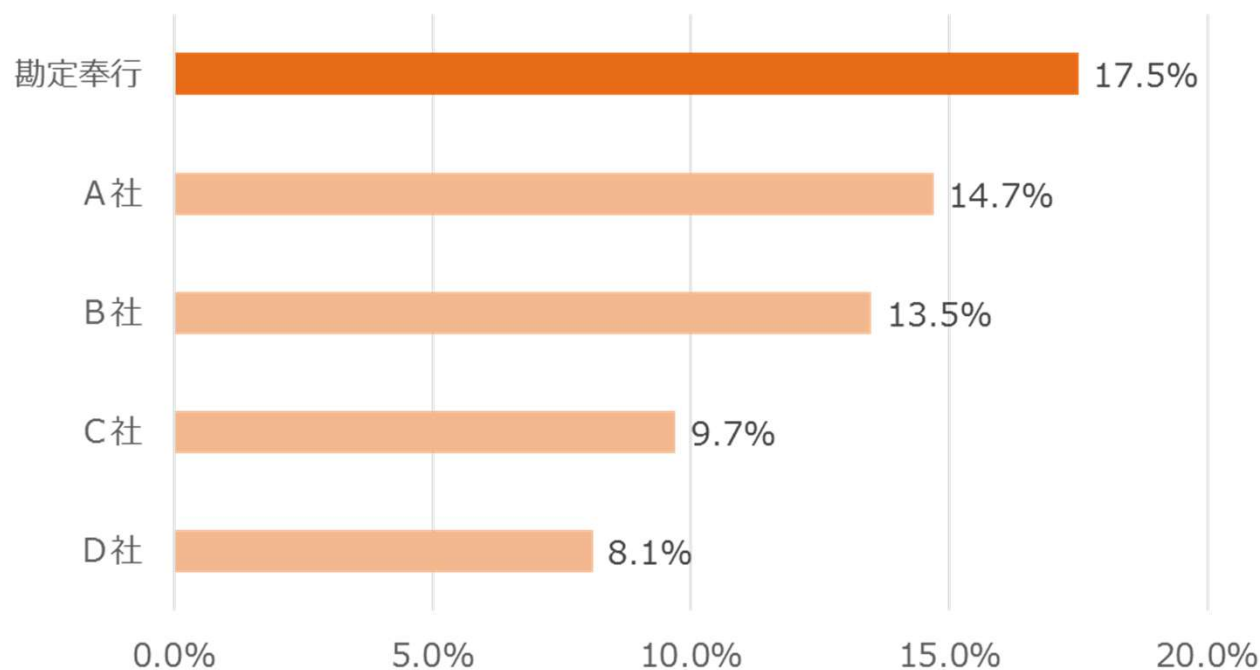
市場における地位①



財務会計システムの導入シェア（2018年）

- 調査実施時期：2018年7月～8月
- 対象：年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ「2018年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

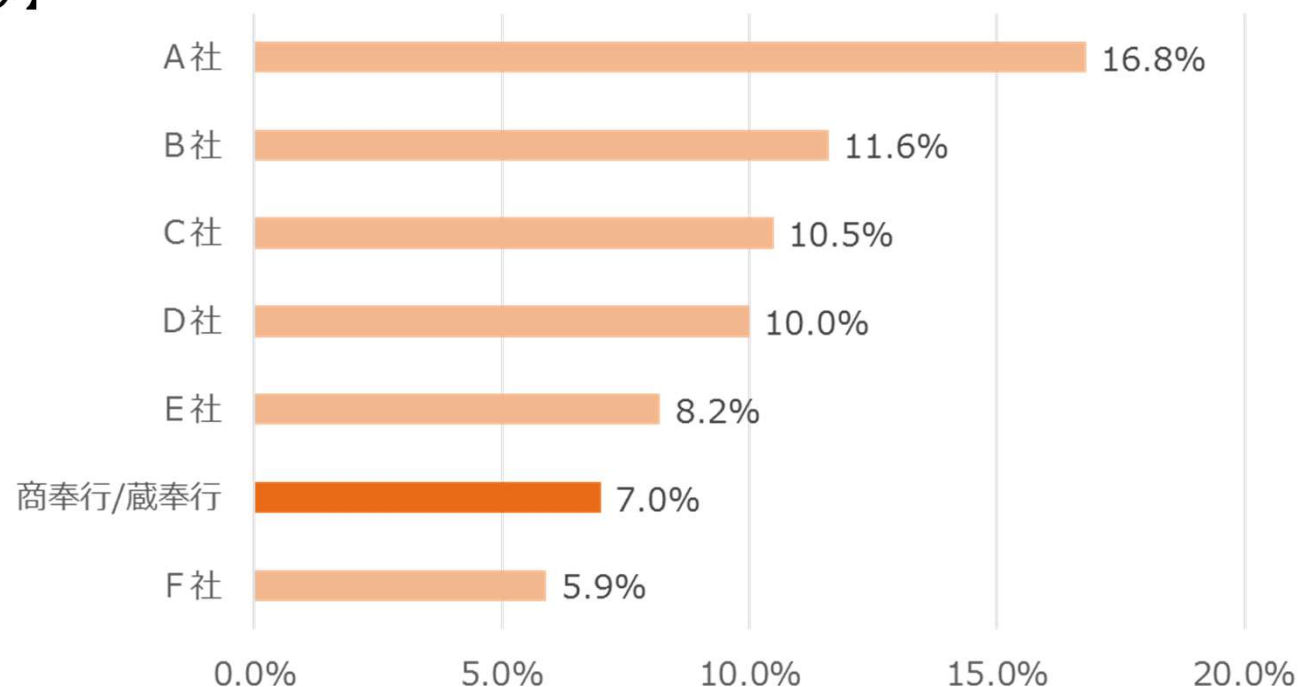
市場における地位②



販売・仕入管理システムの導入シェア（2018年）

- 調査実施時期：2018年7月～8月
- 対象：年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ「2018年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

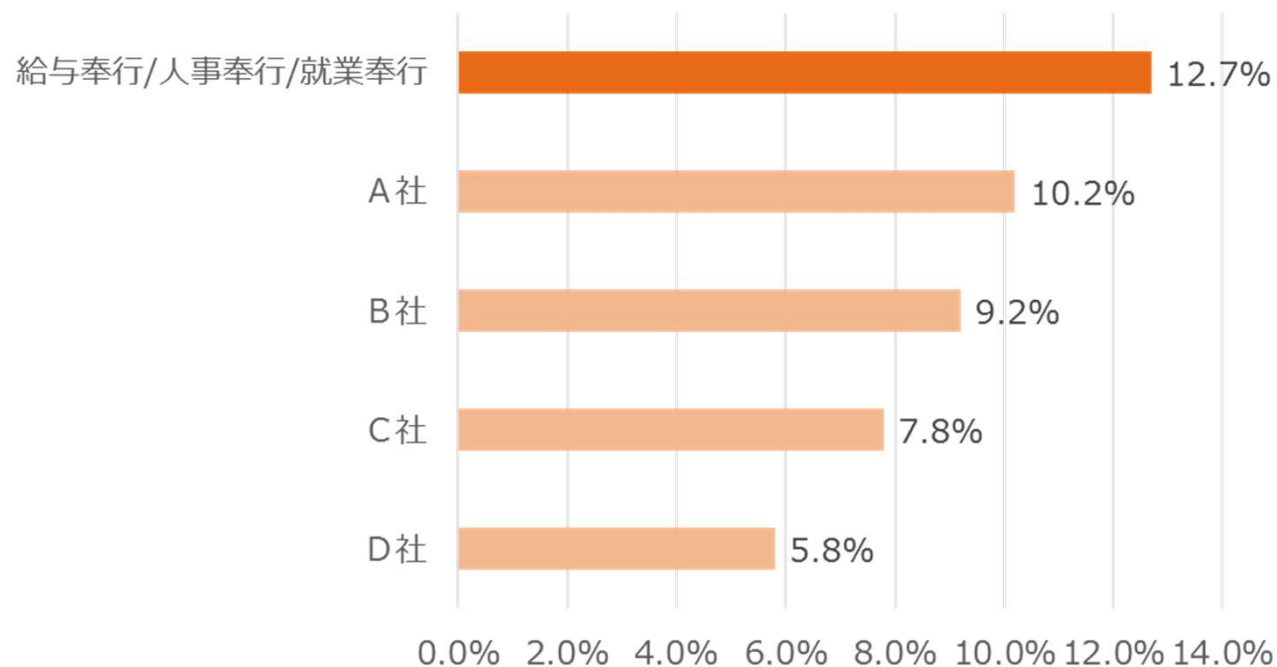
市場における地位③



人事・給与システムの導入シェア（2018年）

- 調査実施時期：2018年7月～8月
- 対象：年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2018年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

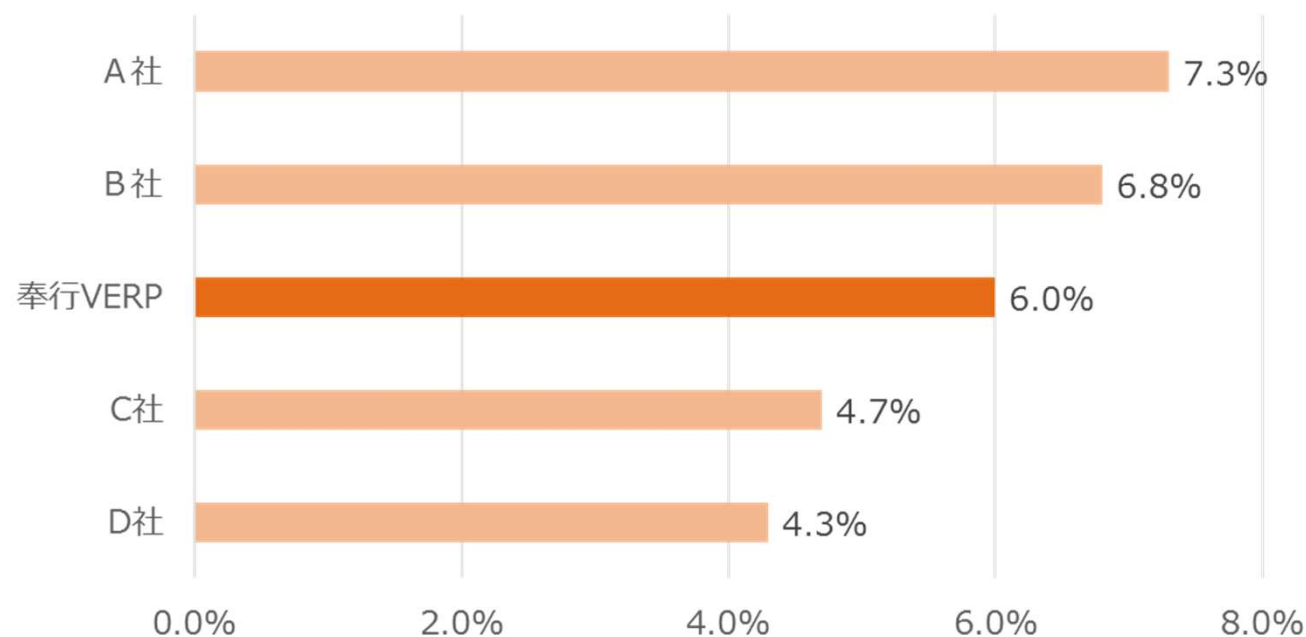
市場における地位④



ERPパッケージの導入シェア（2018年）

- 調査実施時期：2018年7月～8月
- 対象：年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2018年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より



www.obc.co.jp

～ IR活動における個人情報取り扱い側窓口 ～

株式会社オービックビジネスコンサルタント 管理本部 高橋 電話 03-3342-1881

皆さまからお預かりする個人情報は、当社のIR活動の向上を目的として収集しています。従って、この目的以外にご記入いただいた内容や皆さまに関する情報を第三者に開示することはありません。

説明会の出欠管理に関しては野村IRに委託しており、委託にあたっては同社の個人情報保護方針について確認しております。